

# ボッチャ

ボッチャは、重度の脳性まひ者や同程度の重度障がい者が四肢にある人のためにヨーロッパで考案されたスポーツです。近年では障がいの有無に関わらず、老若男女、誰でも楽しむことができるスポーツとして注目されています。

## ◎用具

(1) ジャックボール(白)…1個

(2) ボッチャボール…12個(赤6個、青6個)

(3) ランプ…ボールを投げるできない、BC3クラスの選手が使用できる道具で、ボッチャボールを転がすことで投球を行う。ランプの長さを継ぎ足すこと、素材を変えることができる。ランプの勾配の角度を変えて、ボッチャボールのスピードを調整して距離を変えたり、相手のボールを弾いたりする。

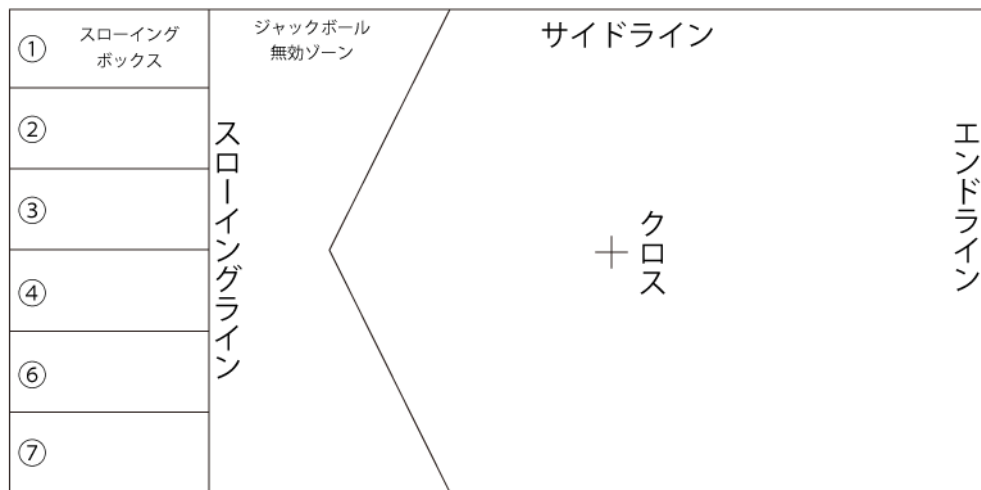
(4) リリースャー…BC3クラスの選手が手でボールをおさえておくのが難しい場合やボッチャボールをおさえるために手が届かない場合、ランプでボールを投球するのに使われる。金具が折り畳み式になっているので、伸ばして調整する。先端の平らな部分でボッチャボールを押さえておく。

## ◎コート

コート全体…6m×12.5m

スローイングボックス…1m×2.5m(6ボックス)

無効ゾーン…6m×(最長3m、最短1.5m)



## ◎ゲームの進め方

どれだけボールを的に近づけることができるかを競うシンプルなルールです。

(1) 第1エンドは常に赤ボールが先攻となる。(以降、偶数エンドは青ボール、奇数エンドは赤ボールが先攻)

(2) 先攻側が的にジャックボールを投げ、続けて1投目の投球を行う。

(3) 後攻側が最初の投球を行う。

(4) 以降、ジャックボールからより遠い位置にボールを投げた側の選手がその次の投球を行う。

(5) 赤、青ともに6球ずつ投げた時点で得点を計算する。

この一連の流れを 1 エンドとし、個人戦とペア戦は 4 エンド、チーム戦は 6 エンド行う。

エンド終了時、ジャックボールに最も近いボールを投げた側にのみ得点が入る。相手側のジャックボールに最も近いボールよりも、ジャックボールに近いボール 1 個につき、1 点が与えられる。

(6)以降、同様の形式で各エンドを戦い、点数をつける。

※すべてのエンドが終了時点で同点の場合

同点の場合はタイブレイクを行う。タイブレイクは、まずコイントスで先攻・後攻を決め、ジャックボールはコート中央のクロスに置く。その後は通常のエンドと同様にお互いのボールを投げ合い、点数の多い方がその試合の勝者となる。もしそれでも勝負が決まらない場合は、同様のタイブレイクを 2 回、3 回と行います。